

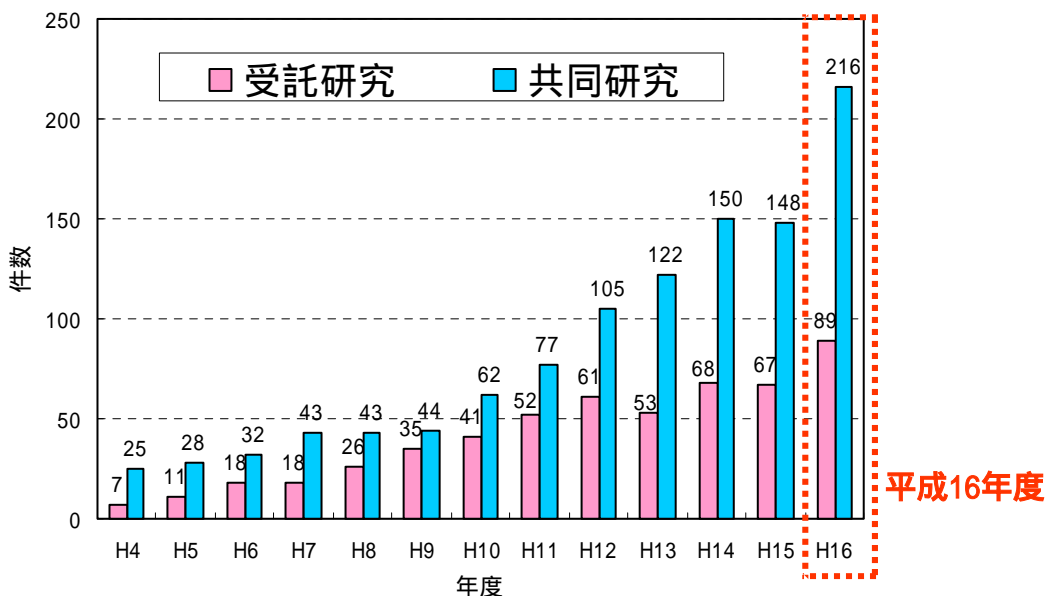
CONTENTS

平成16年度共同・受託研究実績報告……………	1
コラム～客員教授を終えて～……………	2
平成17年度客員教授のご紹介……………	3
客員教授による特別講演会情報……………	3
研究協力会部会講演会情報……………	4

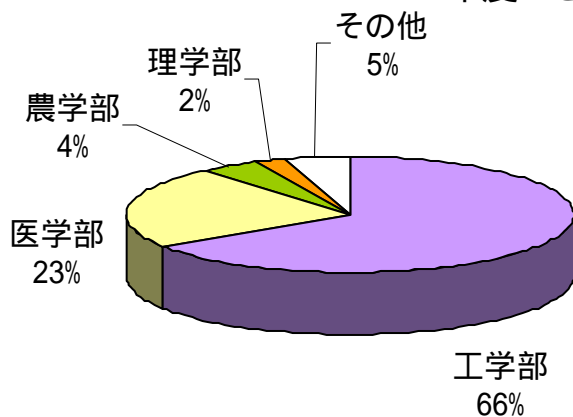
発行 山口大学地域共同研究開発センター
 連絡先 〒755-8611
 宇部市常盤台2丁目16-1
 電話 0836-85-9951 F A X 0836-85-9952
 e-mail jim@crc.yamaguchi-u.ac.jp
 U R L http://www.crc.yamaguchi-u.ac.jp

平成16年度 共同・受託研究の実績報告

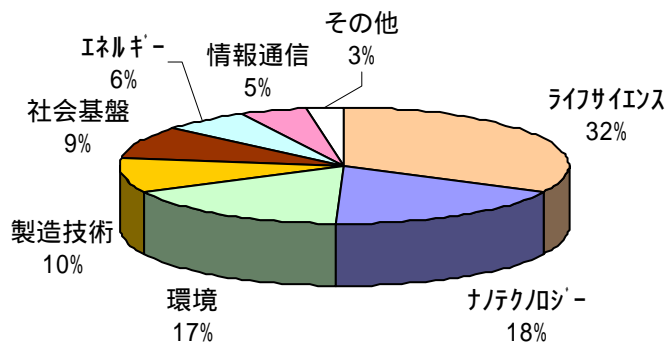
平成16年度の共同研究と受託研究の実績をお知らせします。
 皆様のご尽力、ご協力のおかげで、本年度は共同研究216件、受託研究は89件になりました。
 平成17年度もみなさまのご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。



年度ごとの件数の推移



共同研究の学部割合



共同研究分野

コラム～客員教授を終えて～



山口大学への期待・質の高い産学連携を

山口大学客員教授（平成16年度） 谷口 人文
（株式会社トクヤマつくば研究所長、機能材料開発グループリーダー）

山口大学で客員教授として二度の講義をさせていただきました。申し上げたかった事は「産・学・官で共通の研究開発ゴールを持ち、これに向かった適切な役割分担とスピーディーな運営を行う事がいかに重要か」ということです。その為には未来に向けて魅力ある（産から言うと儲かる・差別化できる）分野を抽出する事がまず大切であります。「魅力ある分野こそが若い学生や研究者にとって、より積極的に自立的に研究を進めたがる必要条件」と思うからです。その上で「共通ゴールに迅速にしかもできるだけ体系化された高級な研究結果に到達する為のHOW TO」を年寄りたちは必死に考えなければならないと思います。山口大学はこのような日本再生を目指す「学」としての重要な立場にあり、また私たち「産」から見て十分に応えてくれる素晴らしいパートナーと思います。よりアグレッシブでより感性の磨かれた「学生」の輩出と彼らによるより質の高い研究こそ、我々「産業界」にいるものにとっての最大の期待であります。「未来に向けて魅力あるゴール」を「学生たちの質の高い研究」と「民間の力強い事業化取り組み」で一つ一つ刈り取る事が、未来の日本の生き残る唯一の方法だと思います。これから共々磨きあいましょう。以上



客員教授としての1年 ～講演を通して感じたこと～

山口大学客員教授（平成16年度） 荒木 義則
（中電技術コンサルタント（株）河川部）

山口大学地域共同研究開発センターの客員教授として、6月9日に先端技術セミナー、10月19日に特別講演会を実施しました。主として土砂災害警戒避難をテーマに土砂災害警戒避難対策の現状とその課題、土砂災害警戒避難を支える先端技術について紹介しました。土砂災害とは、一口に言っても土石流、がけ崩れ、地すべり等と種類によってメカニズムが千差万別であり、話として聞いた事や書籍等で見たりしたことはあっても、現場の体験談や写真等で詳細に説明したことにより、少しは土砂災害の現象が理解され、また興味を持って頂けたのではないかと思います。講演会での様々な質問や、参加されたゼネコンやコンサル、学生さんからもその後、色々な問い合わせがある等、このテーマに関する関心が高かったことが伺えます。

我々社会人にとっては、現場に役に立つ研究開発が第1であり、「土砂災害から人命を守るための技術」として開発した成果が使われ、世の中のお役に立てることが最高の喜びです。しかしながら、解決しなくてはならない課題も多く残されており、このテーマに少しでも関心を持ち、新たにチャレンジする人材が増えることを期待しています。

このような産学連携強化において重要な役割を担っている当センターの役割は大きく、研究と実務の橋渡しとして、また地域の地場産業の活性化のため、今後もタイムリーなテーマについて、最先端の情報や技術を発進し続けられることを切望します。私としても技術開発研究を継続し、今後も当センターのお役に立てるよう努力するつもりであります。

最後に、このような機会を与えて頂いた清水センター長をはじめセンターの方々、担当教官である古川先生、講演の準備で奔走していただいた学生諸君に感謝いたします。

平成17年度 客員教授のご紹介

当センターでは、今年度も山口大学と民間企業等との共同研究の推進等を目的として民間機関等から客員教授をお迎えし、「特別講演会」や「セミナー」等を開催致します。なお、講演会のご案内はセンター発行のメールマガジンやホームページでもお知らせしております。

氏 名	現 職	専 門 分 野
井上 浩	井上特許商標事務所 弁理士	知的財産権、ビジネス
高木 義輝	高木特許事務所 弁理士・技術士	技術移転関連
齋藤 真由美	特許庁 特許審査第三部 生命工学審査官	知的財産権
松田 臣平	(独)科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 「環境ナノ触媒」技術参事	ベンチャー・ビジネス特論
横林 寛昉	株式会社YBI 社長	ベンチャー・ビジネス特論
下田 義文	八千代エンジニアリング株式会社 取締役	砂防
長島 実	協和発酵工業株式会社 理事グループ監理室環境安全部長	環境工学
松田 和洋	エム バイオ テック株式会社 取締役	脂質免疫学
村田 正義	個人事業APT 代表	電子デバイス
山本 陽一	三井住友建設株式会社 主任研究員	地盤工学

客員教授による特別講演会情報

「旧法タンク基礎地盤の液状化対策とその現状について」

日 時:2005年6月14日(火) 14:30～16:30

場 所:山口大学工学部 機械社建棟2階 202教室

講 師:山本陽一 山口大学客員教授(三井住友建設株式会社技術研究所
土木研究開発部 地盤研究室 主任研究員)

「最近のリスクコミュニケーションに関する話題と技術者倫理」

日 時:2005年6月28日(火) 13:30～15:30

場 所:山口大学ベンチャービジネスラボラトリ3階セミナー室(工学部内)

講 師:長島 實 山口大学客員教授(独立行政法人 食品総合研究所 監事)

客員教授による特別講演会情報のつづき

「超高周波プラズマCVD技術の大面積基盤表面処理への応用と課題」

日時: 2005年7月27日(水) 15:00 ~ 16:30

場所: 山口大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー3階セミナー室

講師: 村田正義 山口大学客員教授(APT代表)

この特別講演は土木学会継続教育プログラムとして認定されています。

上記の受講のお申し込み、お問合せは山口大学地域共同研究開発センターへ

TEL:0836-85-9951、FAX:0836-85-9952、E-Mail:jim@crc.yamaguchi-u.ac.jp

研究協力会部会講演会情報

フードバイオ部会・環境部会

「バイオマスと環境に関する講演会・見学会」

日時: 2005年6月17日(金) 13:10 - 18:45

会場: 山口大学工学部D11講義室

13:40 - 15:40 講演会

講演1「地球環境問題と石炭利用技術」

三浦孝一氏(京都大学大学院工学研究科化学工学専攻 教授)

講演2「森林バイオマスによるガス化発電技術の開発とその課題」

笹内謙一氏(中外炉工業株式会社バイオマス発電プロジェクト部長)

15:40 - 17:10 見学会

中外炉工業株式会社バイオマス発電プロジェクトガス化発電設備(山口市佐山3-47)

17:10 - 18:45 技術交流会 山口大学工学部福利厚生棟

参加費: 講演会・技術交流会ともに無料です。

申込方法: 氏名・勤務先・所属・連絡先(住所・電話・fax・e-mail)と技術交流会参加の有無を明記の上、faxあるいはe-mailにて6月13日(月)までに下記宛お申し込みください。受講証は発送しません。なお見学につきましてはバスの定員の関係で先着50名で打ち切らせていただきますのでご了承ください。

申込先:

山口大学工学部応用化学工学科内

山口地区化学工学懇話会事務局(〒755-8611宇部市常盤台2-16-1)

fax 0836-85-9201 tel 0836-85-9200 e-mail konwakai@yamaguchi-u.ac.jp

<http://kako.chem.yamaguchi-u.ac.jp>



山口大学 産学公連携・創業支援機構

地域共同研究開発センター

Collaborative Research Center, Yamaguchi University

連絡先: 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1

発行: 山口大学地域共同研究開発センター TEL:0836-85-9951 FAX: 0836-85-9952

E-mail: jim@crc.yamaguchi-u.ac.jp ホームページ: <http://www.crc.yamaguchi-u.ac.jp>